

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 4 月 30 日 (2021.4.30)

【公開番号】特開 2019-162320 (P2019-162320A)

【公開日】令和 1 年 9 月 26 日 (2019.9.26)

【年通号数】公開・登録公報 2019-039

【出願番号】特願 2018-52499 (P2018-52499)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 3 月 19 日 (2021.3.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技の進行を制御する進行制御手段と、

所定動作手段と、

前記進行制御手段から送信される指示情報に基づいて前記所定動作手段の動作を制御する所定動作制御手段と、

動作電力の供給が開始された場合に前記所定動作手段に初期動作を行わせる初期動作制御手段と、
を備え、

前記進行制御手段は、動作電力の供給が開始された場合に動作電力の供給開始時の処理を実行するものであって、前記動作電力の供給開始時の処理の実行内容に応じて異なる種類の開始情報を送信するものであることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

ここで、上記例示等のような遊技機においては、所定動作手段が正常に動作するか否かの確認を好適に行う必要がある、この点について未だ改良の余地がある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、上記例示した事情等に鑑みてなされたものであり、所定動作手段が正常に動作するか否かの確認を好適に行うことが可能な遊技機を提供することを目的とするものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記課題を解決すべく請求項1記載の発明は、遊技の進行を制御する進行制御手段と、所定動作手段と、

前記進行制御手段から送信される指示情報に基づいて前記所定動作手段の動作を制御する所定動作制御手段と、

動作電力の供給が開始された場合に前記所定動作手段に初期動作を行わせる初期動作制御手段と、
を備え、

前記進行制御手段は、動作電力の供給が開始された場合に動作電力の供給開始時の処理を実行するものであって、前記動作電力の供給開始時の処理の実行内容に応じて異なる種類の開始情報を送信するものであることを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明によれば、所定動作手段が正常に動作するか否かの確認を好適に行うことが可能となる。